

## あらしじ (長編記録映画)

朝鮮慶州の没落両班だった崔濟愚<sup>チエジユ</sup>は、1860年、儒教、仏教、仙教を融合して「東学思想」を創始した。そして、「人はすなわち天である」という教えを定着させ、やがて、それが「輔国安民」の宗教へとつながる……。

朝鮮政府は「東学」を邪教として弾圧。1864年、崔濟愚は死刑となる。しかし、その思想は崔時亨<sup>チエシホン</sup>によって引き継がれてゆく。

映画は現代の過密都市ソウルから入り、近代国家韓国には、いままシャーマニズムが生きていることをあきらかにし、「東学」が、いまでは「天道教」として厳存している現実を捉える。信仰厚いクリスチャンであった韓国・元大統領・金大中氏も、一方では「東学」の存在を意味深く肯定していた。

崔濟愚の境涯を辿りながら「東学」の研究者・李離和氏にインタビューし、後の指導者・全瑋準<sup>チョンゴンジュン</sup>らによる、1894年の甲午農民戦争（東学農民革命）の全貌に迫る。農民軍は「沙鉢通文」（誰か首謀者かわからないように円形に署名した）に連名し、東学革命へと邁進する。腐敗墮落した朝鮮王朝と対峙し、打ちつづく海外からの侵略に対抗して農民のユートピア実現を目指して農民たちは立ちあがった。

しかし、朝鮮官軍は日本軍と一体化し、全羅道古阜で立ち上がった農民軍を剪滅せんと、一気に朝鮮半島へと雪崩れ込む！

農民たちは農具を武器に、地方軍、政府軍を各地で破り、道郡・全州を占領。

朝鮮政府は、中国の清軍に援助を求めた！

日本は清の勢力を排除することをもくろみ、朝鮮全土を支配する事を念じていた。清の軍が朝鮮に入ったことを知った日本は、ソウルの公使館警護と、在留邦人を保護するという名目で、大軍をくり出し、戦争指導者、川上操六は「東学党に対スル処置ハ、厳烈ナルヲ要ス、向後 悉ク殺戮スヘシ」と打電し、ライフル銃を持った大軍が朝鮮、仁川へと雪崩れこむ。そして、農民軍を殺戮すると同時に「日清戦争」を誘発させる。

朝鮮全土の農民たちは「東学」を胸に立ちあがり、全瑋準を先頭に、日本軍との攻防が続くが、ライフル銃と農具の闘争は雲泥の差で、農民軍は殺戮の波に呑みこまれていく。

全瑋準は死罪となり、川上操六は時のひととなる……。

「東学」遺族たちは3代目、4代目、5代目となるが、それらの遺族を訪ね数多くの証言を得た。東学の遺族を弔う祭祀は、いまでも続けられ線香の絶える間はない。

いま、韓国の文化人は「東学」から続く現代の東アジア全体をどう考え、どう擬視しているのか、その実像に迫る。

### <スタッフ>

プロデューサー	前田 憲 二
音 楽	甲 田 潤
撮 影	北 村 徳 男
編 集	曹 南 鉉
通訳・助監督	林 秀 貞
ナレーター-日本	関 根 正 明
韓国	裴 美 香
音 楽 指 揮	中 島 章 博
主題・曲 歌唱	姜 錫 子
演 奏	東学農民革命交響楽団 韓楽器演奏グループ
イ ラ ス ト	キム テヒヨン
レコーディング	
エンジニア	渡 辺 紀 明
宣 伝 美 術	黒 田 貴 史 菅 原 政 美
題 字・墨	李 鏞
デ ス ク	金 信 院 朴 春 玉
監 督・構 成	前 田 憲 二

### <製 作 協 力>

韓 勝 憲
東学農民革命記念事業会
天 道 教
東京音楽大学民族音楽研究所
高 麗 神 社
李 離 和
河 正 雄
都 常 録
李 鏞
DMZ DOCS
申 淳 鐵 以下各界代表者12名
古 賀 政 男 音楽博物館
申 東 凡
韓国・カカオ ストリーファウンディング・
支援者 尹 吉漢ほか 1549名

連絡先 NPO法人ハヌルハウス

202-0002東京都西東京市ひばりが丘北4-1-9

電話042-439-3090 FAX042-439-3481

Email hanulhouse5996@gmail.com